

金原山～二床山山行報告

【山行日】2020年 12月20日(日) 晴れ
【集合】岩舟支所P AM 7:00
【費用】マイカー3台： 800円
【メンバー】CL: 福島 SL大西、安西、島田、鈴木英、鈴木幸、関、福田、吉田

【コースタイム】岩舟支所 P7:00 = 道の駅「どまんなかたぬま」7:15/7:20 = 鹿嶋神社P7:30 = 金原山登山口7:50/8:00 → 金原山8:15 → 六地藏(小俣峠)8:45 → 休憩8:55/9:00 → 蛙岩 → 林山9:15 → ピーク9:30/9:35 → 天ヶ岳10:15 → 休憩10:20/10:25 → 大姫山10:50 → 桜山11:00/11:05 → 林道11:40 → 林道 11:45 → 一床山12:20/12:50 → 二床山13:05 → 高松山13:25 → 鹿嶋神社P14:10/14:15 = あわしま堂14:25/14:40 = 岩舟支所15:10



2018年に「金原山から三床山に縦走できる。」と聞き、2019年4月に個人山行を計画した。機会がなく今年4月にやっと実施した。金原山周辺にはアカヤシオが咲き、その後の登山道はヤマツツジ



が綺麗だった。3月末ならヤマザクラも見られると思った。下りが主の楽しい尾根歩きだった。本会のリーダーであるS幸さんに報告したところ、後期のこの時期に月例山行に入れてくださった。桜山から一床山を歩いては、とアドバイスを頂いた。9月末と12月初めに下見をした。

岩舟支所を出発し道の駅「どまんなかたぬま」でトイレを使う。鹿嶋神社Pに車を1台デポし金原山登山口へ向かった。登山口は林道脇が少し広がっており車2台が楽に駐車できた。気温は1度。風もある。2・3mの感じだ。寒い。16日には今年最強の

寒波が訪れ、関越道で記録的大雪による立往生が起きている。寒波はまだ去らない。寒波による降雪後の風なのだろうと思った。早々に身支度・ストレッチを済ませ8:00過ぎには出発した。

12分位で本日の最高峰、金原山(427m)に着く。衣服調整をする予定だったが寒くてそれどころではない。写真を撮り出発。緩やかに下りアップしてダウン。この辺りが春にアカヤシオが見られる個所だ。祠のあるピークを左に進むと急下りになる。本日最初の難関。トラロープが張られているので手掛かりにして下る。鞍部に着くと悲鳴が聞こえた。後ろを見るとA西さんがロープに必死で掴まっているのが見えた。A西さんはロープを離さず堪え、態勢を立て直した。後ろの人が落ち葉で滑って転びそうになり、A西さんに掴まって事なきを得たようだ。

針葉樹が見られるようになると六地藏のある小俣峠に着く。ススキが刈られ少し広がっている。左右に下る道があり十字路になっているのも分かる。そこから急登を登り上げ、2つ目のピークを下ったところでOサブリーダーから声が掛かり休憩にした。衣服調整と飲水。



次の2つのピークは巻き、5番目辺りが「蛙岩」と小さく表示された大岩。下って振り返ると確かに蛙のように見えなくはない。また小さいピークを2つ登ると林山になる。林山の見晴らしはあまりよくない。道は大きく左へ曲がる。右へは小さく「西根方面」と表示されている。こちらの踏み跡はあまりない。



写真を撮り道なりに左へ進む。2つ目の見晴らしのよいピークで休憩にする。南側が開けていて下もよく見えるので高度感がある。正面に遠く新宿ビル群、スカイツリー、筑波山が確認できた。風があるから見えるのだな、と思った。リンゴを頂き元気が出た。

林山～天ヶ岳間はコースタイムで50分。同じような景色が続き飽き易い箇所だと思う。眺望ピークまで進んで来ているのであと35分位と考えた。アップダウンを5・6回位繰り返して天ヶ岳に着いた。本日

初めての登山者の方に会い、その方がシャッターを押してくださった。右へは小さく「八剣神社」と表示されている。左へは大きく「桜山」と表示されている。進もうとすると休憩のリクエストがあった。風があるので下って日当たりのよい場所で休憩にした。バナナとミニブッセを頂きました元気が出た。2つ目のピークを越えると本日2回目の難所、トラロープのある急下りになる。今度は何事もなく安全に下ることができた。ここからはほぼ平坦に近い尾根道になる。左に採石場を持つ鍋山が見えた。ピークも越える。また歩き易い尾根道が続く。気持ちが良い。日当たりがよくても風がある。針葉樹林帯に入ると寒い。岩尾根を登り上げると大姫山になる。写真を撮り、目の前に見える桜山に進む。5分ちよつとで桜山に着いた。11:00。昼食を摂っている登山客がいた。桜山山頂はけっこう広く祠がある。祠の前で写真を撮り休憩にした。柿を食べ

元気を出した。桜山からは左へ行けば「烏ヶ岳・三床山方面」。一床山へは右の尾根を下って行く。日当たりはいいが風が吹き付け寒い。20分程下ると分岐になる。真っ直ぐ進めば「東根方面」。一床山は左へ曲がる。風の影響を受けにくい南東斜面になりホッとすが、3回目の急下りトラロープがあった。安全に下り傾斜が緩くなると林道に出た。この林道を右に進み左に曲がれば一床山登山口に行けるのだが、途中の杉の木に表示板が打ち付けてあり、細い沢を渡り、笹藪を横切るように誘導されている。9月末の下見時、笹藪は猛勢で通れない状態だった。一夏でこれだけ伸びるなら登山道としては無理があるように思えた。下見の時、笹竹を少し刈っておいたのでなんとか通れた。杉の木の間に表示された一床山登山口から急登を登り、樹林帯を過ぎ、岩尾根を歩き、最後の急登一登りを頑張れば一床山である。時間が遅いので先客は家族連れ1組だけだった。風はひどくない。周囲の木々は揺れているのに山頂はそれ程寒くない。ピークと同じように新宿ビル群、スカイツリー、筑波山が見えた。更に富士山も見える。風で雪煙が巻き上がっているのがよく分かった。お湯を沸かして頂き昼食になった。卵焼き、リンゴ、煎餅を頂き、皆さん満腹で力が湧いてきた。ここから、S幸さん、Y田さん、福島で車回収のため先行する。急下り、尾根歩き、岩登りで二床山へ。二床山頂は狭く眺望もない。高松・鹿嶋神社方面の標識に従って右へ曲がり下る。4度目の急下りトラロープ。なだらかになりピークを2つ超えると高松山。Y田さんが「松の木が綺麗だ。」と感心していた。S幸さんが「松が綺麗だから高松という名前なのだよ。」と説明していた。



高松山頂からも、緩く下り途中で急になり、また緩急を繰り返す。広く刈られた篠竹林間の道を抜けるとソーラー側のPだ。9月の下見時に今までのPは閉鎖になっていた。幸いソーラー側に10台位駐車できる。朝は5台、今も8台位、マナーよく止めていた。

金原山登山口までは往復40分。靴を履き替えたが14:05には戻ることができた。間もなくOサブリーダーにお願いした本隊が着いた。あわしま堂でトイレと買い物を済ませ15:10には岩舟支所に着いた。寒い中皆さん無事に歩き通すことができたのでよかったと思った山行だった。